

派遣先所属 福島県浪江町 産業振興課 商工労働係  
氏 名 岡部 鈴瑚（おかべ りんご）、佐藤 大紀（さとう ひろき）  
派遣期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

## 1 派遣業務の内容、現況

浪江町産業振興課には3つの係があり、主に町内の産業振興に関する業務・観光に関する業務・雇用に関する業務・産業団地の整備・企業誘致・水素をはじめとする新エネルギー推進に関する業務などを行っています。震災から14年以上が過ぎましたが、発災後6年間にわたって全町避難を余儀なくされた当町ではいまだに町内の8割のエリアは放射線量が高い帰還困難区域であり、人口は震災前の10分の1程度しか回復しておらず、町の再生のためには町内生活環境の整備と震災後再開・創業した事業者が自立して事業を継続できる支援が必要です。

浪江町の予算規模は、震災復興関連事業の増加により、震災前のおよそ5倍になっています。増加した事業を進めるため、職員数もおよそ2.3倍になっており、その増員分を支えているのが他自治体や民間などから派遣されている応援職員です。26名で構成されている産業振興課には経済産業省、福島県、神奈川県、新宿区、横浜市、赤磐市、ANA、東武トップツアーズ、東京電力、イオン東北、三井住友海上など様々なバックグラウンドを持つ職員が在籍しており、協力して日々の業務に取り組んでいます。

今年度浪江町には埼玉県からは2名派遣されており、ともに商工労働係に配属されています。担当業務は事業者支援関連の補助金事務、観光関連のイベント運営業務及び地場産品振興関連業務で、係内の分掌には他に「道の駅なみえ」や「いこいの村なみえ」、「陶芸の杜おおぼり」などの観光関係施設の維持管理運営に関する業務や仮設商業施設の整備解体に関する業務、雇用対策関係、地域おこし協力隊に関する業務などがあります。

事業者支援については、町の背景を考慮しながらニーズの調査をし、庁内での調整をしつつ復興計画に沿って支援策を検討しています。役場が実行委員会として参加しているなみえ十日市祭は、今年15年ぶりに震災前の会場で開催され、現在も避難を続けている町民を含む多くの方に来場いただき、大盛況となりました。



なみえ十日市祭の様子

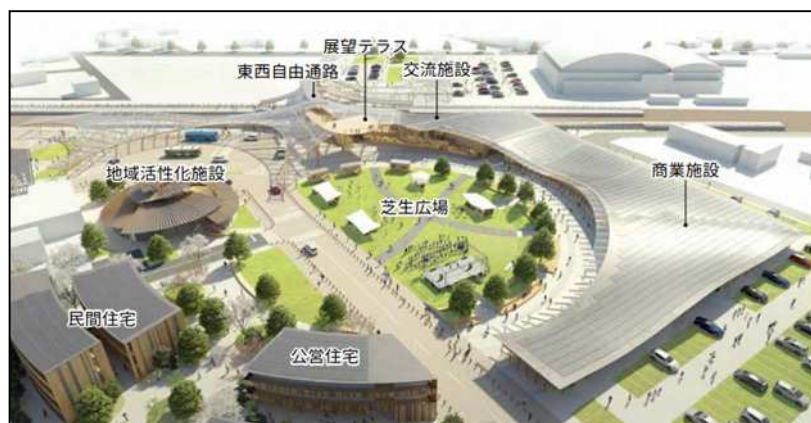


うまいもん MAP（商工労働係作成）

## 2 被災地の復旧・復興の状況

浪江町は、地震・津波・原子力の複合災害を経験し、他の被災地とは異なる復興を歩んできました。震度6強の地震を受け、最大15mを超える津波を観測し、町内は甚大な被害を受けました。発災翌日救助に向かおうとした矢先に、福島第一原子力発電所の事故による全町避難となり、被災状況の確認や生存者の救出もままならぬまま町を離れることとなるなど、凄惨な経験をした地域です。津波被災地域においては、現在は住宅の建設ができない地区に指定され、被災した請戸小学校は震災遺構として当時の様子を伝えています。

平成29年3月末にようやく町の一部の避難指示が解除され役場機能が町内に戻ってきても、一度0人になった居住人口はなかなか増えず、失われた町の賑わいを取り戻すには町内の生活環境のさらなる充足が求められているところです。6年間に及ぶ全町避難の間に荒廃が進んだ家屋は解体され、いまだ空き地が目立ちますが、復興計画に沿って、2つの計画を含む7つの産業団地を整備し、世界最大級の水素製造拠点であるFH2Rや大阪万博の大屋根リングに使用した木材の3分の1を製造した東日本最大級の福島高度集成材製造センターFLAM、国が設立した研究教育機関F-REIなどを誘致し、JR浪江駅周辺整備などハード面の復興が着実に動き出しています。



浪江駅周辺グランドデザイン基本計画

## 3 被災地へ派遣となって感じたこと

浪江町に派遣となって、広域自治体では経験できない、選挙事務や地域のイベントの運営、町民との直接の関わりなど、役割の違う市町村の業務は新鮮で、積極的に楽しみながら取り組んでいます。特に相双地域全体のお祭りである「相馬野馬追」や東京ドームでのコラボイベントなどは埼玉県での業務では経験できない貴重な経験でした。

異なる自治体での業務は新しい気づきが多く、組織編成の違い、事務処理方法の違い、小規模自治体ならではの他課との連携、市町村と県との関係など、他の自治体の職員として経験できたからこそ任期終了後に埼玉県の業務に生かせることがたくさんあると感じます。

町内にはまだ娯楽施設や買い物環境などが整っていませんが、時間外や休日には職員同士で遊びを企画したり、旅行に行ったり、スポーツをしたり、充実した日々を送っています。



相馬野馬追の騎馬行列



東京ドームでのコラボイベントの様子



浪江町イメージアップキャラクター  
「うけどん」と町の花のコスモス



役場の同僚と休日を過ごす様子